

## 普及所から 89

### トルコギキョウの栽培

トルコギキョウの生産量は、全国的に近年急速に伸びてきています。それは、育種の成果として、花色や花型が豊富になったこと、またトルコギキョウのイメージが和洋の両面を備えていて、利用の場が広がったなどによるものです。

南国市においても、関心が高まり、徐々に栽培面積が増加してきています。促成栽培の作型のもものは、9月中旬から育苗が開始されるので、育苗・栽培の要点について述べてみます。

#### ◎育苗

は種は9月中旬～10月初旬に行います。早播きすると、育苗中の高温によりロゼット状態になり、開花が遅れるので良くありません。育苗期間中はできるだけ涼しい環境づくりをしてください。

育苗用土は、清潔で排水性、保水性に優れたものを用います。完熟たい肥、ピートモス、田土等を混合して準備します。

は種は育苗箱で行います。前

記の用土を深さ8cm程度の育苗箱にすき間がでないように詰めて、表面を平らにし、十分灌水しておきます。種子は1㎡当たり1～2万粒と微細であるため、ピートモス等を細かく砕いたものを増量剤にして混合してバラ播きし、種子は10㎡当たり20～30㎡用意します。

発芽には光が必要なので、覆土はしません。は種後、発芽するまでの約2週間は水分管理が重要で、特に床表面を乾かさな

いようにする必要があります。このため、は種後育苗箱をポリフィルムで被覆しますが、ポリフィルムは双葉がかなり展開する2週間前後をめどに、徐々に取り除き、灌水は底面給水とします。

本葉が展開するころに1回目、本葉が重なってきたら2回目の間引きをして、健苗の育成に努めます。本葉4～6枚で細根が多く、茎立ち前のものが定植適期の苗です。は種後、60～70日を要します。

#### ◎定植後の管理

あせ中1・5株、株間、条間ともに10株、10㎡当たり6万本を定植します。

元肥は10㎡当たり各成分ともに10～15gを目安とします。土壌酸度は6・5度前後に矯正します。

本圃は定植の前に十分灌水しておき、ビニールシート等で覆い、十分に水分をなじませておきます。定植後は活着を良好にし、初期生育を促進させるため、十分に灌水を行います。生育初期に水分が不足すると、ロゼット化を誘導したり、節間が伸長せず、切り花の長さが短くなるり出蓄してくるころは、十分に灌水をします。生育後半には灌水を少なくして、硬い茎のものを作ります。生育後半に水分が多いと上位節間及び花首を急速に伸長させ、草姿の乱れを引き起こします。

また、生育後半に急激に灌水

を控えると、茎が中空になったり偏平になったりするため、灌水は徐々に控えるようにします。

温度管理は生育初期から出蕾期までは蒸し込み風にし、後半は換気をよくします。夜温は10度ぐらいに管理します。

フラワーネットは10～15cmの目のものを張ります。草丈の伸長につれて引き上げます。収穫時にはかなりの重量を支えるので、支柱は頑強なものにします。また、定植時にネットの目を利用して植えると便利です。

#### ◎自家採種

切り花適期は、2～3輪開花したときです。

交配する花数は、1株5～6個とし、残りの花、交配後にでてくる蕾は摘除します。交配適期は、雌しべの先端が割れ、光沢を帯びてきたころに、成熟した花粉をつけます。交配は午前中に行い、曇雨天のときは避けます。葉が黄色くなるまで圃場で十分に充実させ、その後刈り取り、日陰で乾燥させます。

#### 農家の皆さんへ

#### 転作の現地確認に

#### ご協力を

平成2年度転作(普通作と二回作)の現地確認を、次の日程で行います。

転作確認事務のうち、特に現地確認は重要で万全を期さなければなりませんので、前回同様ご協力をお願いします。

#### 現地確認日

10月5日(金)久礼田、岡豊、野田

6日(土)國府、長岡、岩村

8日(月)前浜、日章

9日(火)三和、十市

11日(木)大篠、介良、稲生

12日(金)上倉、瓶岩

なお、現地確認協力員の皆さんへの現地確認説明会は今回開きませんが、転作確認の手引きをお送りしますので、ご協力をお願いします。

※詳しいことのお問い合わせは、産業経済課農政係(☎2111内線235)まで。

#### 高知県老人洋上

#### ボランティア教室

#### 参加者募集中

高知県及び(財)こうち長寿センターでは、老人洋上ボランティア教室の参加者を募集しています。

これは、洋上での研修を通じて相互交流の輪を広めることを目的として行っているものです。

開催日 10月16日～20日

申し込み締め切り 9月24日

※お申し込み、お問い合わせは市福祉事務所社会係(☎2111内線161)まで。